

新生入船中学校

校舎の改修工事を終え、新しく生まれ変わった入船中学校。
制服のモデルチェンジ、小学校との部活動交流、タブレット端末の活用や植物工場の設置等、特色ある教育活動にチャレンジしています。



生徒会の新しいスローガン

地域を愛し、学校を愛し、 仲間を愛する入船中

私たちの入船中学校は、地域文化祭・地域美化活動・新浦安駅前での募金や福祉活動の呼びかけなどに積極的に参加し、地域とともに歩んでいます。また、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事は、生徒中心で運営を行い、学級や部活動では、いじめのない、楽しく、思いやりのあふれる活動をしています。こんな魅力ある学校をアピールするため、生徒会はこのスローガンを作成しました。

生徒会任命式での決意表明



制服が新しくなります

平成28年度から、入船中学校の制服が新しくなります。中学生だけでなく、隣接する入船小学校の児童や保護者の方の意見も取り入れ、制服をモデルチェンジしました。

コンセプトは、入船中カラーの紺や青を基調とし、大海原（大きな希望）に望む入船丸（入船中生）をイメージしています。夏服は水色のポロシャツです。



全国初の植物工場

理科教育推進校である入船中学校には、学校での本格的な活用は全国初となる植物工場が設置されました。

植物工場では、LED照明や空調、養液等を使って、施設内で季節や天候にかかわらず植物を育てることができます。各学級2名ずつの環境係が中心となって、野菜を育て始めました。

土で育てていた時と違い、虫に食べられることなく、人が食べることのできる部分が多いと感じました。

タブレット端末の活用

ICT活用推進モデル校である入船中学校では、千葉工業大学よりiPad mini80台が寄贈され、数学、理科、体育などではタブレット端末の操作を楽しみながら、進んで学習に活用しています。

入船中の 新しい取組

タブレット端末を操作しながら、考え方を伝え合う数学の学習



数学の図形の学習では、線に色をつけながら説明しました。色でどの線かはっきりとわかり、操作しながら説明できるので、友だちの考えたことがわかりやすかったです。



植物工場で育てたレタスを収穫

科学技術最先端の設備を活用できて、興味深いです。